

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	瑞穂市立西小学校		
実 施 期 間	平成25年11月1日(金)		
実 施 概 要	・「研究発表会」とし、地域の方々、保護者、学校関係者にコミュニケーション能力を育む国語科の授業や児童集会を公開した。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	160人	計 180人
	地域関係者	20人	
実 施 状 況	1 特徴的な内容 ・全保護者及び学校評議員、自治会長、民生児童委員等地域の方々に案内を配布した。 ・本校はこの8年間、総合的な学習を中心にして、キャリア発達に関わる力の育成に努めてきた。その中で、自己の思いを伝える力の不十分さを感じてきた。そこで、昨年度より、国語科を研究の中心にすえ、コミュニケーション能力の育成を重点にした。それにより、児童は生き生きと他者とつながり、キャリアを築いていくことになると考えた。 2 公開授業の様子 ・コミュニケーション能力を育むために、学年の実態に応じて討論、グループ交流、プレゼンテーション等多様な学習活動が位置付けられており、「話す・聞く・話し合う力」が、定着してきた。 ・児童集会では、2年生が生活科や詩の群読、歌の発表を行った。大きな声ではっきりとリズムにのって、話したり歌ったりできた。また、その後の感想発表では、めざしている8割の児童の挙手も目標を達成できた。その内容も感想だけでなく、これからの自分たちの学習や生活に生かそうとするものに高まってきた。		
成 果 及 び 課 題	1 保護者や地域の方々の意見、感想 ○児童が集中して、教師や仲間の話を聞き、意欲的に学習している姿を見ることができてよかった ○子どもが、仲間の発表に対して、理由をつけてそのよさを話すことができていた。 ▲開かれた学校をめざしてこれからも学校の教育活動を継続的に公開をしていく必要がある。 2 学校の教育週間に関する趣旨やねらいに関わって ○本校の実践しているコミュニケーション能力を育む国語科教育について、保護者や地域から高い評価を得ることができた。 ▲より多くの保護者及び地域の方々に参加していただけるように、情報を発信の方法を考える。		